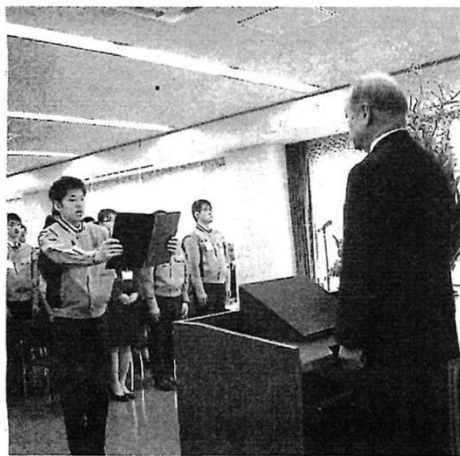


# 2019年4月9日掲載 物流ニッポン

## 「真面目さ」伝統に磨き 第一貨物

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は1日、本社で入社式を開き、前年より4人多い61人の新入社員を迎え入れた。内訳は、事務職が大卒11人、高卒2人で、整備職は専門学校卒1人と高卒9人。運転職は大卒など2人と高卒29人で、新たに物流センターで働く作業職として高卒7人を採用した。



武藤社長が「当社は設立から78年を迎える。トラック輸送は転換期にあり、少子高齢化やネット通販の拡大などにより、顧客ニーズが多様化している。重要なのは、いかにニーズに応えられるかだ。当社が長い歴史をつくり

新入社員代表の松岡さんの答辞を聴く武藤社長

いるのは、顧客との信頼関係があるからで、ひたむきに、真面目に仕事に取り組んでいることが評価されている。諸君には、この伝統に磨きをかけ、更に新しい伝統をつくらせて欲しい」と呼び掛けた。

新入社員を代表し、松岡嵩善さんが「一日も早く、一人前の社員として期待に添えるよう自己研鑽に努め、全力で仕事に取り組み」と力強く誓った。

(黒田秀男)